

事業名
提案者名

【共同提案者がいる場合、共同提案者名】

※技術、標準化の内容を表す図、データ等を示してください。

【概要】

※標準化活動の概要

(どのような技術、評価方法等を標準化するのか、どのような調査を行うのか、どういった連携(異業種連携等)を行うのか等)について、5行前後でご記載ください。

【技術等詳細及び社会的意義】

※標準(デジュール/フォーラム)開発する技術、サービスまたは評価・測定方法に関して、どのような技術、方法等が必要なのかについてご記載ください。

提案する当該標準化活動の取り巻く状況をご記載ください。

また、そうした技術/製品/サービス等の標準化によって、どのような社会/市場/産業課題を解決し、省エネルギー化等に資するのかについて記載してください。

例)・・・による測定方法は、・・・することができる。従来の・・・を用いた方法と比較して、・・・のため有用である。

本技術は、・・・できる技術である。昨今、問題が顕在化してきている・・・等活用が期待できる。また、・・・の省エネルギー化等の効果が期待できる。

【対象となる規格の分類】

※デジュール標準を目指す場合は、以下の該当項目に○をつけてください。分類の詳細は(参考)をご覧ください。複数可。

1. 基本規格
2. 用語規格
3. 試験方法規格
4. 製品規格
5. プロセス規格

【標準化する項目】(案)

※何を標準化するのか簡潔に記載してください。

- (1)・・・の測定方法
- (2)・・・
- (3)・・・
- (4)・・・
- (5)・・・

(参考) 規格の分類

- 「規格の種類」は、ISO/IECのガイドで分類。それに基づくJIS Z 8002では規格を8つに分類している。
- 規格の8分類のうち、基本形となるのが以下①～⑤となる。

| | |
|---------|---|
| ①基本規格 | <ul style="list-style-type: none"> 用語、記号、単位、標準数など提供範囲が広い分野にわたる規格、または特定の分野についての全体的な既述事項を持つ規格。 |
| ②用語規格 | <ul style="list-style-type: none"> 用語に関する規格であって、通常、用語の定義を伴い、時には説明のための備考、図解、例などを伴うもの。 |
| ③試験方法規格 | <ul style="list-style-type: none"> 試験方法に関する規格であって、時にはサンプリング、統計的方法の使用、試験順序などのような試験に関する記述事項を含むもの。 例えば、長さを測る時に、気温や湿度の設定が無ければ同じ条件で比較することはできない。こうした条件設定も、試験方法規格となる。 多くの場合、基本規格・用語規格による用語・単位の存在が前提となる。 |
| ④製品規格 | <ul style="list-style-type: none"> 目的適合性を確実に果たすために、製品又は製品群が満たさなければならない要求事項（形、色、機能、性能等）を規定する規格。 「製品のあるべき値」を記述するためには、試験方法規格（=あるべき値の計り方）が必須となる。 |
| ⑤プロセス規格 | <ul style="list-style-type: none"> 目的適合性を確実に果たすために、製造方法、管理方法等、プロセスが満たされなければならないポイントを記述した規格。 「マネジメントシステム規格」も包含すると整理できる。 |

基本規格・用語規格

用語や単位などの名前・仕様を決定

試験方法規格

測定方法や試験の環境条件等を決定

製品規格

仕様を決定

プロセス規格

つくり方、使用方法、管理方法等を決定

※「目的適合性を確実に果たすために」とは、意識すれば「試験方法や製品やプロセスを、規格どおりにするために」というニュアンスとなる。